

追悼のことば

本日ここに戦没者霊苑春季慰霊追悼式を執り行うにあたり 東京都遺族連合会を代表して 謹んで追悼のことばを申し上げます

あの熾烈をきわめた大戦が終結し 我が国に平和が蘇ってから七十六年目の春を迎えました

ご英霊の皆様におかれましては 国家防衛のため 戦地に赴き 兵站乏しい中で 苦難にみちた戦いの末 戦火のなかに尊い生命を捧げ 遂に帰らぬ人となりました

国の行く末を思い 愛しい家族を案じつつ 無念な最期を遂げられた皆様に心から哀悼の誠を捧げます

残された我々遺族にとりましても 一家を支える愛しい肉親を奪われ

深い悲しみに堪えながら 混乱した社会経済の中で 決して平坦な道のみではありませんでした

しかしながら 私たちは皆様の殉国の精神を心の支えとして 生活を切り開き 今日を迎えています

戦後 我が国は 先の大戦への深い反省のもと世界に誇れる平和国家としての道を 一途に歩みつづけ 国民のたゆまぬ努力により 今日 繁栄を築きあげることができました

これも偏に 散華された皆様の尊い犠牲と ご加護の上にあることを決して忘れるものではありません

今年の春二月は 未だ新型コロナウイルスの感染拡大が衰えず 桜の花見もダメ 学校卒業や入学のお祝いの集まりも奪われ 国 東京都を上げて自粛を呼びかけ 活き活きとした生活が制限され 人と人との繋がりを大事にする我々遺族会の活動も制約されています

戦後混乱した社会経済の中で 皆様の殉国の精神を心の支えとして 切り開いてきたことを振り返ると 必ずや平和な日常を取り戻せると信じ 頑張つていきます

改めて 私たちは平和と繁栄のため あの悲惨な戦争の史実と教訓を風化させることなく 二度と戦争を起こしてはならないという信念を固くしたところ です

今後とも 我々後継者が孫たち若い世代に確実に語り継ぎ 永遠なる心豊かな社会を築くため一層の努力を尽くしますことを 固くお誓い致します 結びに 戦没者の皆様のご冥福と ご遺族のご健勝をお祈り申し上げ追悼のことばと致します

令和三年三月十五日

一般財団法人 東京都遺族連合会

会長 宇田川 劔雄

令和3年春季慰霊追悼式追悼文

本日ここに、令和3年春季慰霊追悼式が執り行われるに当たり、先の大戦で亡くなられた全ての御霊に対し、東京都民を代表して、謹んで哀悼の誠を捧げます。

先の大戦では、多くの方々が、故郷から遠く離れた戦地において、祖国の安寧と愛する家族の無事を願いつつも、熾烈な戦闘で傷つき、あるいは飢えや病に苦しみながら、帰らぬ人となりました。

内地においても、度重なる空襲により、あまたの尊い命が失われました。

今年は、終戦から七十六年を迎えますが、戦争により亡くなられた方々の御無念と御遺族の深い悲しみに思いを致しますと、今なお戦争の残酷さ、悲惨さに痛惜の念を禁じえません。

私は、この式典に臨み、戦没された方々の祖国や家族への想いを改めて深く心に刻み、戦争の惨禍の記憶を風化させることなく、誰もが心豊かに安心して暮らすことができる世の中の実現に、引き続き力を尽くして参ります。

今なお続く、新型コロナウイルスとの闘いに必ずや打ち勝ち、今年の夏に開催される「東京2020大会」を成功に導き、そして、今日の夢と希望に溢れた平和な世界を、未来の子供たちへと引き継いで参ります。

結びに、戦没された方々の御冥福と、御参列の皆様のお健勝、御多幸を心からお祈り申し上げまして、追悼のことばといたします。

令和三年三月十五日

東京都知事 小池 百合子

戦没者霊苑 令和3年3月15日
春季慰霊追悼式（拝礼式）

動画は[こちら](#)をクリックしてください